

TAKE FREE
2023.01



photo: Ken Ohki

とやまごころ

ー日本橋とやま館たよりー

あなたの知らない富山が誇る
ヒト・モノ・コトの魅力が見つかるフリーマガジン



NIHONBASHI
TOYAMA

今も残る天神信仰。

お正月に天神様を祀るわけ

お正月といえば、しめ縄や鏡餅を飾る習慣が一般的ですが、富山県では天神様の木彫や人形、掛け軸を飾る風習が残っています。天神様とは政治・学問、そして水田耕作に必要な雨と水をもたらす雷神（天神）として、深く信仰されてきた菅原道真公のこと。子どもが学問に親しみ、字が上手くなるようにと、12月25日から1月25日まで天神様を飾り、無事に新年を迎えられたことに感謝し、良い1年になることを祈ります。



宮大工の高い技術を

継承した井波彫刻

木彫りの天神様は、木彫りの町である井波地区の瑞泉寺が発祥の地。14世紀に建立された寺で、何度も火災に見舞われましたが、江戸時代中期に京都の東本願寺から彫刻師が招かれ、地元の宮大工・番匠屋九代七左衛門らにその技法を伝えたことから、井波彫刻が誕生しました。持ち家の多い富山では明治以降、欄間を取り入れた和風建築が普及しました。現在では生活様式の変化により、工芸品としての進化を遂げています。



職人に“弟子入り”できる宿

「Bed and Craft」

井波には地元職人に弟子入りして、木彫りのスプーンや豆皿作りなどのワークショップに参加できる一棟貸しの宿「Bed and Craft」があります。木彫りの町の銘木店や彫刻道具の専門店、彫刻師の工房を自転車でめぐるプランと組み合わせ、工房をリノベーションした趣のある宿を拠点に、モノづくりと町の散策を堪能できそうです。



【表紙の紹介】花嶋彫刻工房にて

井波彫刻協同組合の理事長 花嶋さんの工房での作業風景。完成するまでに100本以上の道具を使い分けて制作するそう。花嶋さんの作る天神様は威厳もありながら、どこか優しさもある印象を受けました。天神様は彫り手の人柄を写す鏡なのかな、とも思います。（カメラマン：大木賢）



日本橋とやま館

ショップフロア 10:30～19:30
和食レストラン 11:30～14:30
17:00～22:30（日・祝～21:00）
バーラウンジ 11:00～21:00
年中無休（年末年始、ビル施設点検日等を除く）
※年末年始の営業は中面をご覧ください。

営業時間やイベント内容については変更となる場合があります。最新の情報については、日本橋とやま館の公式ホームページ・SNS等でご確認ください。

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-2-6
日本橋大栄ビル1階

ショップフロア（物販）03-3516-3020
和食レストラン「富山はま作」03-3516-3011
その他（イベント等）03-6262-2723

電車でのアクセス

東京メトロ
銀座線・半蔵門線「三越前」駅：B5出口より徒歩すぐ
銀座線・東西線「日本橋」駅：B9出口より徒歩3分
都営地下鉄
浅草線「日本橋」駅：B9出口より徒歩3分
JR
総武本線「新日本橋」駅より徒歩8分
「東京」駅より徒歩8分

バスでのアクセス

メトロリンク日本橋（無料巡回バス）
「地下鉄三越前」駅下車 徒歩1分
※東京駅八重洲口「第二鉄鋼ビル」よりご利用いただけます。

公式ホームページ



公式ホームページ更新中！
さまざまな情報を発信しています。

日本橋とやま館



公式SNS

